



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 27 号
令和 3年 8月16日

本年度の修学旅行について

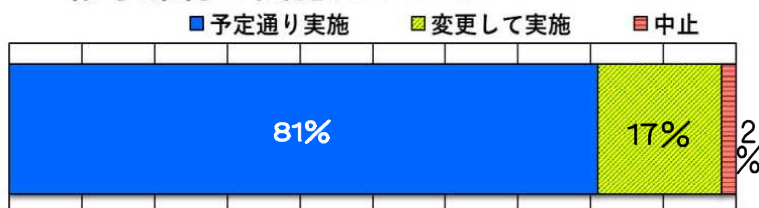
校長 古市 直彦

まず、お詫びを申し上げます。本年度の修学旅行について、7月12日に3年生の保護者の皆様のご意見をいただく機会を設けましたが、その際、修学旅行の出発日を9月10日と記載してしまいました。実際には9月11日(土)からの誤りです。混乱をさせてしまい、申し訳ありませんでした。

なお、調査の結果は次の通りでした。

修学旅行の実施について

	数	割合
予定通り実施	136名	81%
変更して実施	29名	17%
中止	3名	2%



(※回答数：168名)

「変更して実施」と回答された方の中では、次のようなご意見を多くいただきました。

- ・現在と同じ日程で、県内で2泊3日（または1泊2日）で実施
- ・9月～10月に、県内（もしくは長野県）で2泊3日（または1泊2日）で実施

「その他のご意見」の欄に頂戴したご意見も、いくつか紹介させていただきます。

- ・ずっと、「コロナ」を理由に、普通の中学校生活をガマンしているので、修学旅行は行かせてあげたいです。楽しい思い出を作らせてあげたいと思っています。昨年の自然教室も中止になっているので、この修学旅行は、どうしても行かせてあげてほしいです。（同様意見多数）
- ・子どもたちも1回目のワクチン接種ができています。手洗い・マスクを徹底できていると体育祭で実感できたので、どうしても行かせてあげたいです。
- ・コロナ対策して行けば問題ないでしょう。大人が悪いのであって子どもたちの行事を犠牲にする必要はありません。行きたくない人は行かないでいいのだから。
- ・日程変更しても、その時期に行けるという確証はないですし、今後の行事との兼ね合いや進路を決めていく時期とも重なるので、延期は難しいのではと思っています。修学旅行があるということで、夏休み中の勉強も頑張れるのではないのでしょうか。
- ・親としては、やはりコロナ感染に不安があり、本音を言うと中止していただきたいと思いますが、でも、子どもたちが楽しみにしているのも事実です。学校にお任せしたいと思いますが、時期については、冬の方が感染が拡大するという心配もありますので、実施なら予定通りの実施が良いのではないかと思います。
- ・色々ガマンしている中、青春の大事な旅行は、子どもたちにとって最高の行事です。コロナの問題はわかりますが、十分な対策をとっていただき、ぜひ行かせてあげたいです。
- ・オリンピックはやるのですから、きちんと感染対策すれば、修学旅行も良いと思います。
- ・長野は、千葉に比べて感染者が少ないので、予定通りで良いかと思います。
- ・通常あるはずの行事なのはわかりますが、世間では自粛が前提で、感染予防が基本の中、修学旅行に行っている場合じゃないと思います。行った先の長野県にも迷惑をかけることになると思います。大人が自粛で何をすべきなのかを旅行に行くことで教えるのはまちがっていると思います。旅費を違う形で使い、コロナを味わったことを思い出として残す方が、思い出になると思います。

- ・行く・行かないと決まらないのが一番落ち着かないので、行かないと決まってくれたら、それはそれでいいと思います。
- ・宿泊施設や観光施設の感染対策は万全です。視察してみてください。
- ・受験後に、卒業旅行として、修学旅行として同日程で行うのはいかがでしょう。
- ・せっかくいろいろと準備や計画をしているので、変更するなら、それが生かせる形が良い。
- ・宿泊部屋での安全対策をどのようにするのか…。部屋割り・大浴場の使い方なども心配です。
- ・中学生にとって、宿泊行事は思い作りだけではない多くの意味があると思います。厳しい状況の中で先生方の負担は大変なことと思いますが、どうか、どんな形でもいいので、宿泊行事を経験させていただけるとありがたいです。行事は、不要不急ではないですよ。
- ・延期しても、感染の状況は変わらないでしょう。学校生活の中で、この2年間、ほぼ感染者が出なかったことを思うと、先延ばしにして人流が戻った頃に行く方がリスクがあると思います。万が一のことがあっても、受験にはまだ時間があるので、予定通りで良いと思います。
- ・大変な世の中ですが、先生方の日頃のご苦勞・ご配慮に感謝しています。
- ・先生方には、ご苦勞をおかけすると思いますが、連れて行ってあげてください。
- ・判断や選択が難しいとは思いますが、よろしくお願い致します。
- ・いつもありがとうございます。校長先生のご英断を期待しております。

実は、今回の9月11日から2泊3日での長野県への修学旅行と並行する形で、10月下旬に千葉県内で1泊2日の修学旅行をする計画も検討し、宿舍も押さえておいた時期もありました。両押さえの期限が限られておりましたので、千葉県内の宿舍は既にキャンセルしております。また、9月11日からの2泊以外で、10月までに本校規模で予約が取れる宿舍が長野県内に無いことは、6月の時点で確認済みです。宿泊施設（黒部観光ホテル）や現地の感染対策状況に関しても、7月上旬に職員が実際に現地へ赴き、問題が無いことを確認しております。

また、長野県内における感染状況のリサーチも継続しております。最近では、右のグラフのような状況でして、長野県全体で見ても、千葉市内より少ない状況が続いております。

以上のことを踏まえて、8月14日(土)までは、予定通り9月11日(土)から2泊3日、長野県方面への修学旅行を実施する方向で今日のお知らせをするつもりでした。

しかし、ここに来て感染増加の傾向は拡大する一方で、一部では「緊急事態宣言」は延長されるだろうという報道もされています。前述の理由で本校が長野県方面への修学旅行を実施するとしたら、これが最後のチャンスでもありまので、本心を言えば、決定をできるだけ直前まで伸ばしたいところですが、その場合、宿泊費用の半額（または80%）をキャンセル料として保護者の皆様にご負担いただくなくてはなりません。

そこで、9月11日(土)からの修学旅行は実施せず、3月1日(火)～2日(水)の1泊2日で、千葉県内・もしくは近県で卒業旅行として実施することに変更いたします。

11月から2月は、進路の決定に向けて集中させたいですし、卒業式の直前には公立入試の発表や「3年生を送る会」等の行事もあり、2泊3日の日程を組むのが難しい状況です。3月に長野方面への修学旅行も検討しましたが、非常に寒い時期であり、上高地や黒部ダムも閉鎖されているため見所が減ってしまいう上、移動に多くの時間を要するため、1泊2日では難しいと考えました。

現時点では、浦安市近辺のホテルでのテーブルマナー講習や宿泊、または、山梨県河口湖付近のホテルでの宿泊などを検討しております（山梨県も大変感染が少ない地域です）。感染の状況やワクチン接種の進み具合を見ながら慎重に検討を重ねてまいります。詳細は、決まりしだいお知らせいたします。何卒、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

新規新型コロナウイルス感染者数の変位

